

創立 60 周年記念特別イベント「卒業生・元在校生に会おう！」

第2回 保護者になった元在校生達 -- 親子で共有する日本語学校経験

(2018年12月1日)

ワシントン日本語学校の元在校生の話を聞きたい、という要望に応えての「会おう！」イベント第2回は、12月最初の土曜日放課後、かつては自分も本校に通学した、という(現在在校生の)保護者の方々を迎えて開催されました。ニュージャージー補習校出身保護者もゲストに加わり、親子二代にわたっての日本語学校との関わりが様々なエピソードを絡めて語られました。



40人を超える聴衆が集ったアットホームな雰囲気の中で、生徒からも積極的に質問が投げかけられました。漢字はどうやって勉強したの？ 習い事は何をやっていたの？ 将来の夢は何だったの？ いかにも生徒らしい質問に大先輩から経験が共有されました。

在学した学年、家庭的背景、その後の進路、などは四人で異なり、通学当時の日本語学校への気持ちを語る言葉もそれぞれ。それでも、日本語学校での経験が各々の人生の中で価値あるもの——自己のアイデンティティや可能性の発掘、そして世界観の広がりに多大に貢献があったということは全員に共通しているようです。



イベント開催後に出席者からは、興味深かった、感動した、参考になった、頑張る原動力になった、等々のお言葉とともに非常に高い評価を頂いています。親から子へと受け継がれていく日本語、日本文化への思いを直接体験を通して語ってくださったパネリストの方々。会場で貴重な体験談を他の在校生や保護者と分かち合いながら、お互いに励まし合い勇気づけられる。そんな60周年記念イベントが提供できたなら、それは、担当小委員会の本望です。